

## 児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 令和4年 1月 26日

事業所名：児童発達支援事業所なゆた

| 区分       | チェック項目  | 現状評価(実施状況・工夫点等)  | 保護者の評価                     | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容    |
|----------|---|--|----------------------------|-----------------------|
| 環境・体制整備  | 1<br>利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保   | 療育のグループの人数によって隔壁の開閉によって空間を調節している                                 | 広々と活動できていると思います            |                       |
|          | 2<br>職員の適切な配置   | 保育士3名(+1名)、心理士2名、適宜配置している  | 取りこぼしが無いように工夫されていると思います    | 必要な職種を必要な活動に配置することを継続 |
|          | 3<br>本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備                  | TEACCHをベースとした構造化をおこなっている   | ボードに見通しが表示されているのが良いと思います   |                       |
|          | 4<br>清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保                                  | 週に2回+適宜清掃を行っている  | 日当たりが良いです                  |                       |
| 業務改善     | 1<br>業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画                        | 月例の職員会議の中でそれぞれの職員からの意見を取り入れている                                   | /                          |                       |
|          | 2<br>第三者による外部評価を活用した業務改善の実施   | 同法人の相談支援事業従事者に事業所を見てもらい、アドバイスをもらっている                             |                            |                       |
|          | 3<br>職員の資質の向上を行うための研修機会の確保  | 法人で研修委員会が立ち上がり、管理者が副委員長として参加している                                 |                            |                       |
| 適切な支援の提供 | 1<br>アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成 | 引き続き太田ステージの活用、ABAによる行動分析を継続している                                  | 書面にて示してもらおう事で、課題が可視化されています |                       |
|          | 2<br>子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成            | 見学とインテイク時の様子から、少人数のグループが良いか多人数が良いかを判断し、発達年齢をベースとしたグループ分けをおこなっている |                            |                       |
|          | 3<br>児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載           | 3領域(認知・コミュニケーション・情動調整)に分類して計画を立て、具体的支援方法の部分で具体的な内容を記している。        |                            |                       |

| 区分           | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等)                            | 保護者の評価  | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容        |                                 |
|--------------|--------|--|---|---------------------------|---------------------------------|
| 適切な支援の提供(続き) | 4      | 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施         | 各児童のファイルの一番上に最新のIEPをファイルし、各職員確認するようにしている。                         | 見学参観の際、楽しそうに活動する様子に安心しました | 「楽しそう」と保護者に感じてもらえる活動を継続         |
|              | 5      | チーム全体での活動プログラムの立案                          | 毎日の個別支援会議と月例の職員会議の中で、療育内容の再考をおこなっている。                             | 机上学習や制作等も、とても楽しいようです。     |                                 |
|              | 6      | 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援                     | 休日は閉所しているため対応できていない。当事業所は時間ごとにグループを区切った療育を実施しているため、長期休みに形は変えていない。 |                           |                                 |
|              | 7      | 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施                     | 特に保育士が制作活動がマンネリ化しないように頑張ってくれている。                                  |                           | 保育士の制作活動の工夫と同様に、心理士も机上学習の工夫を続ける |
|              | 8      | 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底       | 前回の療育終了時におこなっている  |                           |                                 |
|              | 9      | 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化 | 午前、午後それぞれの療育終了後に実施している個別支援会議でおこなっている                              |                           |                                 |
|              | 10     | 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施          | 保護者向けの連絡帳を、カンファレンス用の資料としてコピーして用いている                               |                           |                                 |
|              | 11     | 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し  | 6か月に1回実施している  |                           |                                 |

| 区分       | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等)  | 保護者の評価  | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容   |                  |
|----------|--------|--|---|----------------------|------------------|
| 関係機関との連携 | 1      | 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画                                     | 相談支援専門員の方から声をかけていただいて、参加している。1月にも参加                             |                      | 引き続き積極的に担当者会議に参加 |
|          | 2      | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)<br>地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施       |   |                      |                  |
|          | 3      | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)<br>子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備                   |   |                      |                  |
|          | 4      | 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有           | 保護者に、各関係機関に当事業所の情報は共有してかまわない旨伝えてある                              |                      | トライアングルプロジェクトの活用 |
|          | 5      | 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、             |   |                      |                  |
|          | 6      | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進                                    | 同法人に発達障害者支援センターのランチがあり、相談にのってもらっている                             |                      |                  |
|          | 7      | 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供 | 実施できていない。障害の有無での判断をおこなっていない。基準は主に生活の困り感に置いている。                  |                      |                  |
|          | 8      | 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営  | 令和3年2月に全対象の講演会を実施した。令和3年12月には保護者向けのワークショップをおこなったため、これを大きくしていきたい |                      |                  |
|          | 1      | 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明   | 見学に来ていただいた時に説明し、その後も質問がある際には答えるようにしている                          | 書面で確認しながら説明していただきました |                  |

| 区分            | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等)  | 保護者の評価                                      | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容              |                              |
|---------------|--------|--|---|---------------------------------|------------------------------|
| 保護者への説明責・連携支援 | 2      | 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明                | 6か月に1回の個別支援計画の報告は、原則保護者への直接説明をしている          | 定期的に計画の確認と説明をしています              |                              |
|               | 3      | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施           | 前年度末講演会を実施、今年度はマインドフルネスのワークショップを実施          | 機会があれば、他の保護者の方々とお話してみたいです       | 実施してきた講演会やワークショップのような活動を継続する |
|               | 4      | 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底                      | 療育のお迎えの際、可能な限り保護者とちよつとした会話をするように意識している      | 毎日の日誌を読み、本人の頑張りや先生の工夫をみるのが楽しみです |                              |
|               | 5      | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施                    | 相談がある際には時間をとってワークルームで相談をお受け出来る事を周知している      | 送り迎えの時に少し相談ができたりします             | 「楽しそう」と保護者に感じてもらえる活動を継続      |
|               | 6      | 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援                       | できていない                                      |                                 | 講演会等から保護者同士の繋がりを検討           |
|               | 7      | 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応 | 事業所入口に、苦情受付についての情報を提示している                   | 苦情が無く満足しているため、どのように対応されているか不明   |                              |
|               | 8      | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮                         | 送迎などの時間に可能な限り保護者と立ち話をするようにしている              | 送り迎えの時に希望すれば相談など                | 希望がある際に相談が可能であることをさらに周知していく  |
|               | 9      | 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信          | 原則月1回の会報誌を発行している                            | 通所日に関しては事前にカレンダーをいただいています       | 会報誌(なゆたん通信)の発行を続ける           |
|               | 10     | 個人情報の取扱いに対する十分な対応                                      | 保護者から得た情報の使用に関しては、保護者から「どのように扱ってよいか」を確認している | きちんと管理されていると思います                |                              |
|               | 1      | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底         | 作成している                                      | 通所前の面談の時にも説明されました               | 感染症に関する情報更新を継続               |

| 区分      | チェック項目   | 現状評価(実施状況・工夫点等)              | 保護者の評価         | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|---------|--|------------------------------|----------------|--------------------|
| 非常時等の対応 | 2<br>非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施  | おこなっている                      | 書面に書いてあったと思います |                    |
|         | 3<br>虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応   | 法人の中で虐待防止委員会があり、参加している       |                | 法人の委員会への参加を継続する    |
|         | 4<br>やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載 | 緊急性、非代替性、一時性、について職員で共通認識している |                |                    |
|         | 5<br>食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応  | インテイク時にアレルギーに関して確認を取っている     |                | 引き続き見学時に確認していく     |
|         | 6<br>ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底   | 作成している                       |                |                    |
|         |  |                              |                |                    |